
遊戯王 蛇と悪魔と屍と

高野豆腐

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王 蛇と悪魔と屍と

【ZPDF】

Z1281P

【作者】

高野豆腐

【あらすじ】

自称フリーニーラーの男が気付いたら遊戯王の世界に衝撃的な若返り！

そして訪れる青春！

マザコソでロリコンなフリーニーラーに明日はあるのか！
何故ナーガ様はあんなに美しいのか！
彼の疑問は止まらない…

愛車と尿瓶とカーテンと（前書き）

二次創作は初めて書くので色々崩壊すると思います。
取り合えず「テュエルアカニア」の鮎川先生って歳いくつなんですか
ね？

愛車と尿瓶とカーテンと

メラゾーマではない、これは余のメラジヤ。

「そんなバカなつ！？」

バーン様のバカあああああ！！

誰か大魔導士つれてこい！

つは！

ゆ、夢？

夢に悪魔の様な大魔王が…！

同じ元ネタなら俺的にはベホマ責めをくらう大魔王様のが好きだな

あ…

いや、今気付いたけどそんな状況じや ないな。

ここ何処だよ？

白い天井、カーテン、自分のじやないベッド。

俺は只のフリーニーナー（たまにバイトして基本ニートの略語。造語）だからバイトが休みの昨日は一日かけて愛車の「麒麟兜曉我謝丸号」（自転車！バイクは免許あるだけさ！）のメンテして寝る前に愛しのデッキを作りあげて就寝したはずだ。

それなのにここは…

「見慣れない天井…」

遊んでる場合じやないよ俺のバカつ！

真面目に何処だよ…？

助けて母さん…。

「Help me -KASANNN！」

何処だよここ…ここ何処だよ！

訳が分からない！

まさに意味 不明！

だから遊んでる場合じゃないよ！

激しく頭をシェイク。

これを見たら「デスマタルのファンも自分を見つめ直すだろ？」
取り合えず落ち着け俺。

話でもしようや…お茶でも飲んでや…。

それ尿じゃねえか！！

慌てるな俺。

まずはよく回りを見渡すんだ…

Q 何がある？

A、カー・テン・窓・花瓶・俺の鞄・尿瓶・麒麟児暁我謝丸号

…！？

目を擦つてから開けてみる。

…！？

やつぱり麒麟児暁我謝丸号がある…

室内だよなこ…

雰囲気から察するに病院か？

でもナースコールも点滴もない。

事故とか急性の病気じゃないわけか。

Q でここ何処？

A、わからん。

何故尿瓶があるのか、何故麒麟児暁我謝丸号があるのか、謎が増え
るばかり。

と思っていたらドアが開く。

カー・テン越しだから良く分からぬけど取り合えずドアが開く。
ツカツカと足音が、歩き方的には女性。

そもそもそこまで背が高く無いな？

年は大体20後半から30前半。恐らくこんな感じだらうな。

何故わかる俺よ。

そして足音が近付きカーテン開かれる。

「あら？ 起きてたの？」

ちょっと驚いた様子の女性。

驚きたいのはこっちだけだ。

取り合えず今欲しいのは会話じゃなく情報だ。

率直に聞くのが一番ですね？

「すいませんここ何処ですか？」

沈黙つて辛い！

「……はい？ 保健室に決まってるでしょう？ 貴方は校内で倒れてたんだから」

何を当たり前みたいに言つてる訳えええ！？

学校なんて3年前に卒業しましたよ！？

そのあとはフリーーターですがね！

「はい？ 僕は学生じゃないんですけど？」

頭の中には？ がいっぱい

叩いたら増えるのかな？

いいえ減ります！ 脳細胞が！

「ホントに何言つてるの？ 貴方は「」、「デュエルアカデミア」の入学試験に来て筆記試験の終わりに倒れたのよ？ 幸い実技試験には時間があるから準備したら？」

までまでまで…

状況を整理させやがれ年増！

とにかくだ、これを小説や漫画に例えるなら…

遊戯王GXの世界にトリップしたんだおつてか？

嘘だろおおおおー？

マジで？ マヂで？ マヂ出島ー！？

そ、そんなの有りかよ…

とにかくだ、もしそれが本当に。

もし本当にデュエルが強い事がアドバンテージになる世界にトリックしたのなら…

ラッキーじゃね？

よし！無くした青春をもつ一度堪能するぜ！

取り合えず自棄だよ自棄！

トリックしてたとしても実家はあるだらうし母ちゃんにも会えるな…

……うん。

俺独り暮らしじゃーん！

死んだ婆さんの家で独り暮らしじゃーん！

と、とにかく実家があるなら大丈夫だ！

試験うけてサクサク帰ろー！

実技試験なんて楽勝だ！

鞄に入ってるデッキにもよるけど楽勝だ！

あと麒麟児暁我謝丸号（赤くて角付きの自転車。モデルは聖帝バイクと赤い彗星）が有るからインパクトの有る登場もできるな。

ああ訳が分からぬから早く帰つて母さんに会いたい…

しかも高校受験生つてことは15歳か？6つも若返つた！一番素敵

だつた時期だな、今も素敵だがな！

「取り合えずありがとう」やつました。そしてやつならー試験受けて実家に帰らせて頂きます！」

「え、ちよつ」

台詞なんて言い終わらせないに決まつてんだろボケ！

ベッドから勢い良く飛び降り靴を履き鞄と尿瓶を愛車のカゴに突っ込み颯爽と保健室から逃げ去る。

そして廊下を走り抜け（室内で自転車に乗るのは良くないぜつ）、会場に向かう。

実家には母さんがちゃんと居るのだろうか、隣の家のヨリネちゃんは相変わらず美幼女なのだろうか…

早く確認したいな。

俺の記憶によれば試験官は雑魚だから直ぐ終わるだろー！
さあー帰モテユエルだぜ！

会場つてどこだ？

試験と尿瓶と尿と（前書き）

ルールは基本〇〇〇Gです。
LPは4000です。

手札の数間違つてたら教えて頂きたいですね。

試験と尿瓶と屍

会場を探していたら立て札を発見！

まあそりやあるわな。

受験番号は1002番。

取り合えず中に入つてみる。

愛車のせいで注目を浴びるが気にしない。

……人居すぎじゃね？

えええ…仲良しグループとか居るのに俺独りぼっちじゃん…
さびしい…

「受験番号1002番！試験を開始します！フィールドに上がつて
下さい！」

「うおー！」

いきなりかよ！ギリギリだなおい！

取り合えずテックを何故か持つてたデュエルディスクに挿し込み尿
瓶を持って急いで壇上に上がる。

注目浴びるのつて恥ずかしいよね

「受験番号1002番、守崎百合花ですね？試験を開始します。準
備はよろしいですか？」

「え、あ、はい」

自己紹介が遅れた氣もするけど。

俺の名前は

守崎 百合花

もりさき ゆりか

由来はなんでもエローとかでいくら調べても女の子だったし女の子

が欲しかったから男の名前を考えて無かつたらしい。

お茶目なママンだぜ…。

親父？ああバカだよな。

お隣のコリネちゃんとは「コリ」繋がりで仲良くなりました！
うへへ…

背は高めなものの線が細くて中性的な顔立ち（らしいよ）と名前で
女の子と間違えられやすい。
レディースステートでずるいよね！
うん。試験官無視してた。

「それでは試験を開始します！
「お願いします」

「決闘 デュエル ！！」

一度言つてみたかつたぜ！

多分先攻は試験官が取るな、確か。

手持ちのデッキを確認したら昨日完成させた嫁デッキだった。
シンクロはまだこの時代にはないはずだから今の俺にとつては丁度
よかつたかな？

シンクロデッキもあるにはあるけど使つのは状況次第だろ？。

「それでは先攻は私が貰います！ドロー！
なにデッキかなあ…

次元帝とか除外じゃないと良いけど。

まあ手札は上々、次元帝でも上手く行けば1キルできる。
裂け目とかなければ…

「手札からアトランティスの戦士の効果を発動します！
なるほど、海デッキか！

アトランティスの戦士は手札から墓地に送る事でデッキから
伝説の都 アトランティス

のフィールド魔法を手札に加える効果を持つている。
只でさえ攻撃力1900でそこそこ怖いから海デッキには必須だろう。

「伝説の都アトランティスを手札に加え、発動します！そしてアビス・ソルジャーを攻撃表示で召喚しカード一枚セツト。ターンエンドです」

アビスソルジャーの攻撃力は1800。
アトランティスの効果で攻守共に200アッブ。
よつて2000。

どうせ俺のターンで終わるから効果の説明は無し！

「俺のターンドロー！」

来たのは手札断殺。

相手がコアキメイルとかだつたらもはや惨殺だよね。

「俺は手札からソーラー・エクスチエンジを発動。手札からライトロード・ビーストウォルフを捨て、2枚ドローする。そしてデッキの上から2枚墓地に送る！」

墓地に落ちたのはワイトキング2体。大分ついてるみたいだぜ！

「ソーラー・エクスチエンジ。手札からライトロードと付いたモンスターを捨て、デッキからカードを2枚ドローしその後、デッキの上から2枚墓地に送る魔法カードね…」

説明ありがとう！

で、誰？

試験官も驚いてるけど俺のが驚いてる。

いきなり横に幼女が現れた…

嬉しいけど！ 可愛いけど！

どうみても受験生じゃ ainainan！

あれか！俺をこの世界に導いた精霊的な！
テンション上がつてキター！

「取り合えず尿瓶持つてくんない？」

「驚きの台詞とか無いの？しかもなんで尿瓶？まあ構わないけど…」
「気にせずサクサク行こうか！」

「そしてまた手札から魔法カード、闇の誘惑を発動。カードを2枚ドローし手札からワイトキングを除外する！」

「今度は闇の誘惑ね。カードを2枚ドローし、その後手札から闇属性モンスター1体を除外するカード」

「説明偉いな…後でジユースをおじつてやろう。」

「随分ドローをしますね…。手札事故ですか？」

「いやいや、試験官よ心配ご無用！これが俺のスタイルだ！」

「ドンドン行くぜ！手札から魔法カード、手札断殺を発動！お互いのプレイヤーは手札を2枚墓地に送り2枚ドローする！俺はワイト2枚を送るぜ」

「ワイト…ですか？また不思議なデッキですね？ワイトを入れてるだなんて」

「呆れんじやねえ！」

「この後でその呆れ顔も驚愕に変わるぜ？」

「そして手札からワイトメアの効果発動！ワイトメアを墓地に送り除外されている自分のワイトキングを特殊召喚だ！」

「ワイトメア？初めて聞くカードですね…」

「まあ出たばっかだからな。」

「そして手札から真紅眼の不死竜を捨て、ダーク・グレファーを特殊召喚！ついでに効果発動だ！手札から闇属性モンスター1体を捨て、デッキから闇属性モンスター1体を墓地に送る！」

「なるほど、ダーク・グレファーはレベル5以上の闇属性モンスターを捨てる事で特殊召喚できる。さらに1ターンに一度手札から闇属性モンスター1体を捨てる事でデッキから闇属性モンスター1体を墓地に送る…何を選ぶのかしら？」

台詞長いね、お疲れさまです。

「決まってる！俺はコストにワイト婦人を、デッキからワイトを墓地に送るぜ！」

「またワイト…。薄々は気付いていたけど…それより随分引きが良いみたいね？」

「ん？ そうだな、最初の手札が上々だったし引きが異常に良いからな。きっと美幼女の恩恵だろう。それよりも…俺はライトロード・マジシャンライラを通常召喚し効果発動だ！」

「ライラの効果は攻撃表示から守備表示にすることで相手フィールド上の魔法、トラップカードを破壊する。まだあるけど今回は関係無さそうね」

「ライラの効果で伏せカードを破壊させて貰うぜ？」

「くつ…。ミラーフォースが無駄になりましたか…」

あぶねえ…

ワイト系は婦人無しだと破壊効果は恐ろしいだけだからな…

「さ、終わりだ！ワイトキングで攻撃！」

「いくらキングについても所詮ワイト…まだ場にはアビスソルジャーがいる！耐えられるはずです！」

甘い甘い！

「残念無念また来年！ワイトキングは墓地に居るワイトキング、ワイトの数だけ元々の攻撃力が1000アップする！ついでにワイト婦人は墓地に居る時はワイトとして扱う！素の攻撃力は？だけどなあ！」

「そんな…！」

最初のソーラー・エクスチェンジで2体。

手札断殺で2体。

ワイトメアが1体。

ダーク・グレファーで2体。

「今墓地に居るワイト系は合計7体だ！つまりワイトキングの攻撃

力は7000だぜえ！？

「な、7000！？」

「理想には足りねえけどこれで終わりだな！アビスソルジャーを倒した上で5000ダメージだ！」

1息溜めてつと。

「ワイトキングでアビスソルジャーに攻撃だぜええーーー！」

「ぐうああああ！！！」

叫び声を上げる試験官。

……やべえやべえやべえ！

ソリッドビジョンマヂやべえ！

近付いてくるワイトキングマヂ怖い！

ちょっと可哀想だったかも…

だつてゆつくり近付いて来て手を振り上げるワイトキング…

俺だつたらまず悲鳴上げるつての！！

目の前で引き裂かれるアビスソルジャー…

しかもソリティア氣味だったかも…

と、とにかく勝利！

俺の勝ちだ！

「…お見事です。合否はおつて連絡しますので…」

「あざーしたー！！」

さあ帰ろう！

ワイト使ってソリティア氣味でその上一ターンキルのオーバーキルを披露したせいで周りの生徒から凄い目で見られてるけど帰ろう！幼女に話を聞くためにも取り合えずお外に！好奇の目も怖いもん！

「おめでとう。わかつてはいたけど流石ね。連れてきた身としては

素直に嬉し

「賛辞は良いから来なさいっ！」

「 ちよつ、痛いわよ！？」

「 いいからー！外で詳しく聞かせて貰うからなー。」

そんな訳でソリットビジョンの恐ろしさを知った俺は愛車に跨がり
幼女をかごに入れて会場を後にしたのだつた

尿瓶？幼女に持つて貰つてます。

「Hiroと盐」と外國と（前書き）

大体一話に一回位のペースで「ヒューリ」をやるつもりです
故に今回は日常（？）編になります

取り合えず試験会場から逃げ出しあら広い中庭に出てみる。

「さあ！名も知らぬ幼女よ！事情を總てお話しなさい！」

「また高圧的な…。先に3つ聞いて良いかしら？」

なんだ…？

スリーサイズか？

3つだから、バスト、ウエスト、ヒップなのか！？

それとも年収？

所持金すらあんまり無いんだぜ！

飛び跳ねたつて音もしないからなつ！

む？わかつたかも！

「俺のマグナムなら約18口径だが？」

「下ネタな上にあからさまな嘘をありがどりう

「なつ、ホントだぞ！起つきしたら凄いんです！」

「カセイ人なのにい？」

「俺はネイキッドスネークだY.O.！」

「それはどうでもいいから3つ。良いかしら？」

「あ、はい…。どぞー」

なんだ？聞きたいのは俺なんだけどなあ。

「1つ、貴方にとってはいきなり右も左も分からぬ所に飛ばされて来たはずだわ。飛ばした私が言つのはなんだけどなんでそんなに冷静なのかしら？」

「はい、昔から物事への執着が弱い上に周りに感心の無い子だと言わっていました」

「それだけの理由で？不思議だわ…。やつぱり選んで正解だったよ

うね、俄然興味が沸いてきたわ

「はい、ありがとうございます」

「2つ目、鞄には一応ガチガチのビートデッキとか使い勝手の良いデッキも入れてあつたわよね？なぜわざわざその中からワイトを選んだのかしら？」

「それはですね、ガチ構成のデッキは使ってても何のスリルも無いし何より堅実に勝ちを取るのは性に合わないの」「さる！カードの回り方は重い位が勝った時にちょうどいいスリルと満足感に満たされます故。それにファンデッキのようなものに負けて歯噛みする相手の顔は素晴らしいモノ故に」

「トリックキーなのが好みなのね。まあ他のデッキを見てもわかるけれどね。その上性格も歪んでる、だから近所の主婦に「守崎さんちの息子さんって昔は暴走族で今はチンピラヤクザなんでしょう？やーねー…」とか言われるのよ。あと駄目な面接みたいな喋り方は微妙にうざったいからいやだわ。丁寧どころか何処の「Japanese sea・サムライ！」よあなた」

何この娘：

なんで的確に人のソウルポイント削るの？
確かに言われるけど…

で、でも近所の子供達には
ししょー！

とか、
センセー！

とか言われて慕われてるんだぞ！

俺ハイスペックだし！

しかも俺チンピラでも暴走族でも無かつたしね！
てか気付いた、この娘はやっぱり外人みたいだな。
侍の事誤解しそうだろ。

そもそも、

縁の髪

赤い瞳

尖ったオーラ（俺にはオーラなんて見えないけどね）
性格は仕方無いし縁の髪なんて見たこと無いけどやつぱり外人だな、
うん。

取り合えず可愛い。

ユリネちゃん（正に絶世の美少女）には少し負けるけど素晴らしい
可愛ただ。

「なんで地元での俺の評価知ってるかは置いといて、3つ田は？」

「そうね始めるわ

「どす」「こ」

「3つ、性格なのは分かるけど何故「負けたら不合格」という状況
であんなにギャンブル性の高いチツキを？眞面目に答えて欲しいわ」「
そんなの、負けたつて地元の学校に行つて飛ばされる前と同じ生
活するだけだし。そもそもワイロはそこまでギャンブル性高くない
ぜ？確かに最初のドロ一 次第ではあるけど比較的回りやすい様に調
整してあるしな。ジャッジメントって切り札もあるからある程度ま
でなら長期戦も考えてあつたよ」

「そう…。貴方にはなんだか驚かされっぱかりだわ。とにかくこ
れで私の質問は終わり、貴方からも何か有るかしら？」

「もちろん。まあ何故連れてきたかは下手したら夢オチつてのもあ
り得そだから聞かない」

「意外と疑り深いのねえ」

「うつせ、小心者なんだよ！」

「取り合えず1つ！今地元に帰つたら1~5歳の俺が居たりしないよ

「はいはい、そんな一気に言わないの。答えは「NO。」変わったのは世界だけ。OK?」

「まあ、わかつた、かも……」

「煮え切らないわね。とにかく「あなたのセカイ」はいつも通り。OK? 大好きなママもユリネちゃんも元気だわ。これで納得した?

アサヒ

つなかくそつ

『マザコンですけど何か問題でもありますっ！？？ママが好きで何が悪い！なんか文句あつかああああああああ！？！』

「ちょっと、声大きいわよ…? 今の大聲でこの学園中に貴方がマザコ

「うわせえ!! 魂の叫びじゃー!! もう知りん!! 帰る!!」

卷之三

「語尾可愛いな。噛んだの可愛いな！」

「いいからー帰るんでしょー?早くフュリー乗り場行くわよー。」

照れてるのかわい…え? フヨリ? 「ちよつ、え?

「当たり前じゃない。」孤島よへや、行きましょ」

! サニセニセニ

「無理無理無理！俺は船はダメだ！」

「仕方無いじゃない。まさか怖いの?
いいから行くわよ! 実家気

言い放つて直ぐに幼女を力口に突つ込み愛車を轢き出す。
いきなり変な所に来て、試験官歯噉みさせてマザコンがバレて…
疲れた…
帰つたら寝よ。ひ。

あれ？

この幼女まさか俺の家に済むのか？もつ訳わからんよ…
フェリー揺れすぎだら…吐きたい…

「速く帰りたいよおおおおお…」

「五月蠅いわよ…」

「すびばでん…」

怒涛の1日を経て、俺は帰路につくのだった。

実家と隣家と外國と（福井や）

一応

「テコエルします

ええあれも一種の「テコエルです

キヤラの口調と「トリキ構成」の覚えなんでスリマセソ...

学園編からは頑張ります

はい、学園編から頑張ります

船に揺らされた」と約30分。（途中で吐いて氣絶したため詳しく述べ
不明…）

またもや知らない港に着き、幼女に連れられ実家のある町へと帰還。
いやまさかチャリを軽トラに乗せるためにヒッチハイクせりられる
なんて…

知らない港から知らない軽トラの荷台で運ばれるなんて…
なんで俺は荷台であいつ助手席なの？

てかなんでの軽トラ左ハンドルなの？外車なの？お洒落なの？

荷台には俺と愛車とお野菜積んでたくせによ…

まあなんとかやっと帰つていれ…待てよ？

「へい幼女、君まさかうちこぐるのか？」

「W h a t ? 当たり前でしょ？ 何バカな顔してバカな事言つてるの
よ…？」レディーを野宿でもわかるかしじ…」

おいおいマジかよ…

「こやいこや、そんなつもつねねーけど…ひのママンこなん
て言つ気だよ…」

「ああ、それなら平氣よ…手は打つてあるから」

「はい？ 何言つてるわけ？」

「まあ入ればわかるわよ。行きましょ」

歩きだす幼女。

意味がわからん…

助けてママン… ノコネちゃん…

てかおこおこ…

いきなりドアあけるなし！

心の準備ぐあ！

お洒落な一軒家である我が家のお洒落なドアノブに手を掛け普通にあけるなし…あけるなし！

「た、ただいま母さん！帰つてこれたよママーン！」

「百合ちゃん！お帰りなさい…百合ちゃん居ないからママ寂しかつ…あら？この娘は？」

「こんにちはおば様 私、百合花さんのお父様の従兄弟の従兄弟の叔父様のお父様の従兄弟の従兄弟の弟の息子の娘の娘です。今日からこちからでお世話になることになつたんですけど…連絡いつてませんか？」

……うん。誰だそれ。

待て待て待て。

整理しよつ。

親父の従兄弟の従兄弟＝親父。

従兄弟の従兄弟の叔父様＝親父の叔父さん。

親父の叔父さんのお父様＝俺のひいじい様。

俺のひいじい様の従兄弟の従兄弟の弟＝俺のひいじい様の弟。

俺のひいじい様の弟の息子＝俺のじい様の従兄弟。

俺のじい様の従兄弟の娘＝親父の従姉妹。

親父の従姉妹の娘＝俺の従姉妹。ん？もはや再従兄弟？いやー、わからん！第1分かりにく過ぎるわー！

最初から従姉妹か再従兄弟つていえや！

「…………？ ゆ、百合ちゃん…お母さん良くわからないんだけど…」

「大丈夫さママン。俺も分からないから。恐らく再従兄弟ですがね！」

「すいません…日本語はまだ不慣れで…」

「再従兄弟？なるほど…そう言えばこないだ手紙が来てたかも…」

まじかよ母さん…

「手紙なんて来てたの？」

「たしか…パパに聞いてみるね」

「親父も知らなかつたらシユールだわな…」

いやマヂで。

「あつ、もしもしパパ？あのね、百合ちゃんの再従兄弟の娘が来てるんだけどパパ何か知ってる？」

ママンが電話を始めたから俺は幼女に詰め寄るづか。

「おい…あの設定マジかよ？」

「そんな訳無いでしょ？世界を変えるついでに私が動きやすいようにちょっと親類に加えて貰つただけよ。それ以外は変わつてないから」

あたいもういや！

「ま、マジかよ…」

「あ、百合ちゃん…パパに聞いてみたんだけどね、明日からその娘家に来る予定だつたんだけビツッキ予定が早まつたんだけ！」

「わーお…百合ちゃんびっくつ…」

「そう言つ訳です。よろしくお願ひしますね
されたくなーー！」

ところ変わつて俺の部屋。

幼女とママンは洋服とか生活用品を買ひにおでかけ。

俺はお留守番。

やる」となんてなんもねーよ…

デッキ改良する気力もなピーンポーン

…誰だよ…なんだ…?今は俺の思考を邪魔するのが流行つてんのか
!?

部屋から出て階段を降りてドアをガチャつ!

「はこどなたで」
「あつ、田舎ちやんだあーーお帰りなさこ」

「試験ビアだつた?」
「ゆ、コリネちやん!」

可愛いなあ…

御隣の家に住む「富城さん」ちの1人娘であり、絶世の美幼女ユリ
ネちゃんだ!

類いまれなるルックスと氣取らない性格で俺のハートを虜捕んでく
るイケナイ娘。

なにようだらうか…

「おつすコリピょん!試験は完璧だつたぜ!」

「完璧かーーおめでただね!」

いやおめでたは違つんじやね?試験完璧だと妊娠すんの?

「んでなにようかな?」

「えつとね、従兄弟の遠い親戚のお兄ちやんがね、田舎ちやんとビ
ュエルしてみたいんだつて…」

また従兄弟関係かちくしよう！

「まあ…仕方無いなあ…上がりたまえよ」

はい おしゃまじゆーく

なにがアリバウド

てか見たことあるな…

卷之三

悔しい現実に頑垂れつつ、とにかく変わって俺の部屋！

「ふんつ、狭い部屋だな」

「なんとかお前」

九...九?

תְּלִימָדָה בְּבָבִילוֹן

はいはい じやうなう

実技試験見せて貰つたが中々面白い元ニト川するしやなしがま
あ俺には及ばんだろうがな…」

マヂなんなのこれ…

「うるせえぞま…万城目！そうだ！お前の名前確か【まきめ】だ！」

三國志 卷之三

「ちつ、デュエル！」

なんだつけ？ ドラゴンだかXYZだつたかな？

今回はわざいけど俺の先攻1ターンで終わらせて貰つかな。
めんどいし…

禁止カードも入れてあるもんね！
この時代に禁止だったかは覚えて無いけどなー！

「じゃあ俺の先攻ドローー！」

「ふんっ！精々楽しませてくれよー！」

うるさいなあ…

「手札断殺発動。お互いは2枚手札を捨て2枚ドロー。俺は2枚捨ててドロー、ついでに捨てた「処刑人マキュラ」の効果を発動だ。このターン俺はトラップカードを伏せずに発動できる。」

「ふんっ！だからなんだ？」

やつた！マキュラ気にしてないややつた！

ただいま手札5枚。

「モンスターセット。魔法カード「太陽の晝」発動だ。モンスターを攻撃表示にし、リバース効果発動。「魔導雑貨商人」の効果で、魔法、罠カードを引くまでデッキの上からカードを引き、それ以外のカードは墓地に送る。」

シャキーンシャキーンシャキーン。

デュエルディスクカツコいいな！

「どんどん落ちるぜ～。10、11…」

「いくらなんでも落ちすぎじゃ ないのか？」

「このデッキ魔法、罠は合計で7枚しか入って無いからな… おっと終わりだ。合計18枚。いくらなんでも落ちすぎだろ…」

ワイトだつたら狂喜乱舞！

「まあいい。お前のデッキ敗けが近くなるだけだからなあ…」

「いや？それはねーなあ」

「なにい？」

「だつてもう、俺の勝ちだ」

「サクサク終わった！」

「引きが良かつた！」

「俺は手札から罠カード「現世と冥界の逆転」を発動。ここは使用者の墓地に15枚以上カードがあるときに発動可能だ。お互いのプレイヤーはデッキと墓地を入れ換える。」

まあ1ターン目なんかに使われたら次の相手はデッキ敗け。そりや禁止にもなるやな…

「な、な…」

「ターンエンド。俺の勝ちだな！」

「1ターン目にデッキ敗けだとおーーー？」

「まさかこんなネタデッキで勝てるなんて…（笑）」

「き、貴様あ！」

「これで気はすんだろ？ まあ帰れよ、まきめ」

「万城田さんだ！ この借りは学園で返す！」

「はいはい。早く帰れよまきめーーー」

「くつ、わらばだー！」

「あー、帰っちゃった…。百合ちゃん遊んでーー？」

「デュエル中ポカーンとしてたコリネちゃんも可愛かったが普段のコリネちゃんがやつぱり最高ですー！」

「よこよーー何する？」「

「うーん…。デュエル！」「

「ひひやー！

まぢかよ…

「俺は違ひのがいいなあ…」

「むむむ…じやあ「私立探偵、御前崎フレッシュ 夕闇に消える夢の

後」」「ひりしそひかー！」

「…え？ なにその濃い名前…夢は消えてるかも知れねえけどやいつの名前は頭から消えねえよ…」

「あつー・フレッシュの終生のライバル「アルベルト数馬」の山詞だね！ 田舎ちやんしつぶーい！」

わーお（笑）

意味わからん…

意味わからん！

意味わからん…！

「まあいいや。やひつかー！」

「やつたあー。コリネがフレッシュやるから田舎ちやんはアルベルトねー！」

「よーしー。もうなんでもこーよー！」

そうしてやつと第一日田終アー。

合格通知来たら学園に移つて『ヒュエル三昧か…

つかれそだやなあ…

まあ仕方無い！

気合い入れてがんばりますかぬ！

やつてやうじあないか！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1281p/>

遊戯王 蛇と悪魔と屍と

2011年10月6日17時14分発行